

山麓もよう

交流の家周辺の体験情報をご紹介します！

【前橋市赤城少年自然の家】<http://gunma-nsp.com/akagi/>



ミズナラの森でのツリーイング。「高くて気持ちいいな～」
＝前橋市赤城少年自然の家周辺の森にて

赤城山の山頂、大沼の湖畔という素敵なフィールドに施設はあります。なんとと言っても、夏の涼しさ(標高 1,354m。交流の家は 520m。)が最大の魅力！また、生命力を感じるミズナラの森、山が燃えるような紅葉、冬は一面の雪景色と、自然の表情がととても豊かです。こちらの施設では、宿泊だけでなく、各種プログラムを体験することができます。周辺山々の

登山はもちろん、カッター、ツリーイング、ワカサギ釣り、スノーシューなど、フィールドの魅力を生かしたプログラムがラインアップされています。宿泊は別の場所でも、スケジュールがあえば、プログラムのみの利用もすることができます。体験料など、プログラムの詳細については、直接お問合せください。(文:柴崎)

■所要時間:交流の家から車で30分
■主な体験内容:カッター:講師料1艇半日9,000円/ツリーイング(2時間程度):1人2,500円/スノーシューハイキング:ガイド料半日につき9,000円、スノーシューレンタル料1日1,000円(1つ)など ■TEL:027-287-8227 ■前橋市富士見町赤城山1-2

リレーcolumn すたっぷの目

文:秋山 和慶
【あきやま かずよし】



スタッフでは最も長身な筆者。管理係長の一面も。

『子どもたちが選択できる機会をつくる』

実を言うと、私はキャンプとか野外活動にそんなに興味があるわけではありません。いわゆるインドア派、家で本を読んだりしている方が好きな人間です。でも思い出してみると、子どもの頃は結構楽しく川や森で遊んでいました。

結果的にインドア派になったわけですが、ここで大事なのは、ちゃんと自然体験もした、けれどインドア派になった、ということです。他になかったから仕方なくこうなった、ではなく。

大人は子どもに、いろんな機会や選択肢をたくさん用意してあげるべきだと思っています。赤城に来たからと言って必ずしも自然を好きになるとは限りません。でもその機会は提供してあげられます。その大人の役目を果たすため、インドア派の自分は今日もここで働いているというわけです。

「所長のつぶやき」
「トピックス」更新中

国立赤城青少年交流の家 <http://akagi.niye.go.jp>

TEL:027-289-7224 (9:00~18:00)

FAX:027-289-7226

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27

E-mail: akagi@niye.go.jp

赤城 カラゴロリ

検索

今月の つぶやき

- 爽やかな春の出発！日々決意！十年一剣！昨日よりも今日！よし！今日も元気に頑張ります！！(井上)
- 「花と緑と笑顔いっぱい」がキャッチフレーズの所から異動してきました。赤城も同じでうれしいです。よろしくお祈りします。(小川)
- 4月から新加入。よろしくお祈りします！赤城での新生活をエンジョイ中。群馬は温泉も多いし、食べ物もうまい！最高！(高瀬)
- 初めまして。4月より本施設に赴任してきました。自然豊かな赤城山の中で働けることに喜びを感じています。(根岸)
- 上州に移り住んで7ヶ月。とっっても親切な上州の人々に驚く日々です。(内田)
- 家族にこれを見られてしまった。滅多な事は書かないまうが良いですね。そしてこれも見られちゃいますが・ごめん。(中屋)
- 今年はずっと以上に季節を楽しみたいとデジカメを持ち歩く最近。春は景色がとってもキレイ！(川崎)
- 野外活動シーズン到来。ハイキングに出かけて道に迷ったら、元の位置に一旦戻ることが鉄則。ハイキングも人生もそうあるべき。(小野里)
- 君の黒髪に桜の花びらが一片、そっと払う手。一抹の寂しさから淡い期待へ、そして膨らむ希望、うつろう気持ち、春。(新井)
- 少し体重が落ちました。今まできつかったズボンが入るようになって少しうれしい。しかし、筋肉を落とさないようにしないと。運動しよつと。(桜井)
- 車のエンジンが焼けた！エンジンランプがたまについていたが、「そろそろランプがおかしくなったんだなあ」と思っていた。(柴崎)
- 「4月」って、いろいろなことが新鮮に感じていいですね。今年度も笑顔でGO。(C)v(廣澤)
- 4月になり新入生や新入職員が多く訪れていただいております。きっと赤城が思い出の地になるのかも。いや、なりますね。(星野)
- ようやく創刊一周年です。読者の皆様から記事への意見を頂けるとありがたいです。(田村)
- 桜フェスタ、無事に開催できました。雨の中出店してくださった皆さん、本当にありがとうございました。(秋山)
- 待ちに待った春がやって来ました。山の色が可愛いピンクや緑に色づきました。お弁当を持って赤城の山にお出かけください。(阿佐美)
- 赤城にも春がやってきました。やまぶきの黄色い色が目にしみませ。一斉に木々が芽吹いた赤城に、みなさんぜひ来ててください。(坂田)
- 所に勤務して3年目になりますが、利用チームに異動になりました。慣れない仕事に目が白黒している今日この頃です(;)。(山崎)
- 子どもが奥様のご実家から帰ってきてからは夜泣きに耐える日々…。仕事中にぼーっとしてても許してね>みなさま(大澤)
- 桜の開花が待ち遠しく、満開の桜は人を惹きつけて、屋外へ誘う。ひとの旅立ちに相応しい晴れやかさ。特にソメイヨシノは。(島崎)
- 梅・桜の花が咲き、椿・レンギョウ・こぶし・シャクナゲ・かたくりの花、たくさんの方が咲き、ウグイスも上手に鳴いています。(神山)
- 桜も終わり、新緑となり、目を和ませてくれますが、草は枯れたままにしてほしいと思うのは、自分だけかな？(佐藤)
- 野外活動の盛んな季節の始まりです。<楽しいアウトドア活動は「安全」から>です。下見や打合せ大切ですね！！(鈴木)

※今号のつぶやき掲載順は、4月ですので「フレッシュ順！＝動成年数順」です。

次号は、
6月7日発行予定！

◀Web版カラゴロリもどうぞ！▶

配信登録は、右のQRコードを読み取りとり、メール作成画面に進み、空メールを送信してください。



風のおと

『あかぎ南ろく桜フェスタ』
ありがとうございました。

おかげさまで、1,460人の皆様にお越しいただき、大変うれしいうれしい限りでした。しかし、悔しいかな、ソボ降る雨の中での開催になり、どこに桜が？という状況でした。皆さんとお話して、これは所長の行いが悪いんだね～などと冗談を言われてしまいました。同時に、来年もやろうね。今度は満開の桜の下でさ！という温かいお声がけもたくさんいただき、感謝！感謝！でした。そう！来年こそは！満開のさくらの下で、晴れやかな、桜フェスタを開きましょう。

とにかく、ご参加いただいた皆様には、本当にありがとうございました。今年お越しいただけなかった皆様、来年も同様の日程で行おうと思いますので、ぜひお越しください。そして、フェスタとかイベントがなくとも、お気軽にお立ち寄りください！

最後に、このカラゴロリ、今年度から、偶数月の隔月発行になります。よろしくお祈りします。

所長 桜井義維英

風と太陽のくにからの通信誌

カラゴロリ

4-5
2012



「桜が散ってハナミズキ」

ちょうど100年前、東京市長だった尾崎行雄がワシントンへ桜を贈った際、その返礼として贈られました。それが日本におけるハナミズキのはじまりです。春と夏をつなぐような存在の樹です。

雨の中、35団体のみなさんが集い、にぎやかに開催

地域に親しまれる施設づくりとさまざまな団体さんと手をつなぐことを目指し、桜フェスタを計画しました。

が…、長引く寒さに桜前線も動きが鈍く、いつまでたっても蕾のまま。その上、なんと当日に限っての雨(ノ)にもかわらず、町内循環バスやシャトルバスを利用するなどして、なんと1,460名の方にお越しいただきました。本当にありがとうございました(T_T)

飲食などは、屋外のテントの下での販売となりました。寒さもありましたが、赤城山ならではの郷土料理や、地のものを使った美味しい逸品は、心を和ませてくれました。



オープニングは、育英短期大学のみなさんによる和太鼓で幕を開けました。=4月14日、交流の家玄関ロビーにて

News

『ぐんまの体験学習データブック』ができました!



交流の家周辺でできる体験活動などの情報を集めた冊子が完成しました。交流の家だけでなく、周辺地域へ足を運んでもらい、より充実した体験学習の一助となればと思います。

利用団体のみなさんへ配布しております。また、ご希望があればお送りいたしますので、お気軽にお問合せください。問合せ先⇒交流の家
☎027-289-7224

◆◆◆◆参加団体◆◆◆◆			
音楽の演奏	富士見中学校	ふれあい動物体験	レオナルド・ダ・ヴィンチ牧場
	原小学校		群馬県馬事公苑
	前橋マンドリン楽団		あるきんぐクラブ
ダンス歌	あばれんぼう太鼓(育英短期大学)	飲食物・日用品・特産品などの販売	サンデン&赤城自然塾
	ハワイアン部(育英短期大学)		(有)シグマ総建
	ハニーキッズ(育英短期大学)		珈琲と軽食 まきの
	CoCoRo 学園		おこわ専門店 なでしこ
	富士見 VYS		富士見商工会青年部
体験ブース	上州竹とんぼの会	7年会友志	7年会友志
	チャウス自然体験学校	富士見農産物加工組合	あかぎの響
	群馬県警交通安全コーナー	AKAGI やる気塾	群馬県森林組合連合会
	沙菓	(株)したら	(株)したら
	ぐんま山森自然楽校	(有)英農園	武田書店
	子どものくらしを守る会	林牧場 福豚の里	とんとん広場
	前橋市	狩野商事	富士見村特産品販売組合
	赤城少年自然の家		
	あかぎ		
	ネイチャーゲームの会		

音楽祭やふれあい動物体験なども皆さんに喜んでいただき、「来年もやってね!」という子どもの声にはとても励まされました。体験コーナーはフェスタ終了の時刻になっても大盛況!一番人気は、自分でわたがしを作る「わたがしづくり」体験で、老若男女、楽しんでいました。スーパー竹とんぼ作りやツリーイング体験など、いつまでも子どもの笑い声が体育館に響いていました。

来年もやります!今度こそ晴れます!満開の桜をご期待ください。(文:山崎)



ふれあい体験の「ツウちゃん」
=4月14日、体育館脇にて

これからの動き

■5/12~13
【自然体験活動指導者養成研修フォローアップ講習会】
※1泊2日
同研修修了の方を対象に、技術などのフォローアップ、その後の情報交換を行います。

■5/19~20
【ボランティア養成セミナー】
※1泊2日
高校生以上を対象とした、交流の家及び周辺の市民活動団体で活動する人を育成するための入門講座です。

■6/22~25
【ミクロネシア諸島自然体験交流事業】
※3泊4日
太平洋諸島の子どもたちを日本に招へいし、自然・異文化などの体験やホームステイを行います。

プログラム紹介!

交流の家では、野外炊事を体験することができます。「カレー」のほか、「バーベキュー」や「豚汁」等があります。今年度から新しく、ドラム缶を改良したピザ釜で、思い思いのピザを作る「ドラム缶ピザ」ができるようになりました。

ギュッギュッと生地をこね、生地を好きな形に伸ばしてピザソースを塗ってコーンやチーズ、トマト、タマネギ、ベーコン等自分の好きな具材をのせてピザ釜へ!いい香りが漂い2分程度で出来上がり。みなさんも、自分だけのおいしいオリジナルPIZZAを作ってみませんか!(-)v 全行程、交流の家スタッフが一緒に行きます。今年は試験実施のため、通常の野外炊事の費用(食事代+備品消耗品代)で体験することができます。※「ピザ作り」は要予約。実施人数等に制限があります。詳細はお問合せください。(文:廣澤)



赤城青少年交流の家で活躍する、非常勤講師やボランティアの方をご紹介します

この人に会いたい

●キャンプファイヤー・レクリエーション講師

めじま はやと
櫛島 隼人さん【めでちゃん】(福祉施設職員/
あかぎ森のようちえん代表)

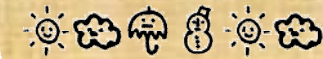


いつも元気いっぱい笑顔です。

これからの季節、夜の目玉であるキャンプファイヤーやキャンドルファイヤー。そのレクリエーション(以下レク)講師としておなじみの櫛島隼人さんは、交流の家と関わって早10年以上(!)というベテラン講師です。赤城に収まらず、群馬県下の多くの青少年活動で活躍されている櫛島さんは、良き貴分の「めでちゃん」として皆から愛されています。

レク講師になる前は、「赤城ボランティア(通称赤ボラ)」として活動されていました。当時の、多くの方との出会いから視野が広がり人生観が変わったとのこと。また様々な活動の経験から本当の意味での自分自身に出会い、それが今に生きていと話します。「日常で経験できないことを皆で共有し、感じ、表現できる場がレク。一人一人、かけがえのない存在で代わりはないので、自分を輝かせるためにもその瞬間を楽しんでほしい。」と語るめでちゃん。彼の指導にはファンが多い理由のひとつですね。(文:川崎)

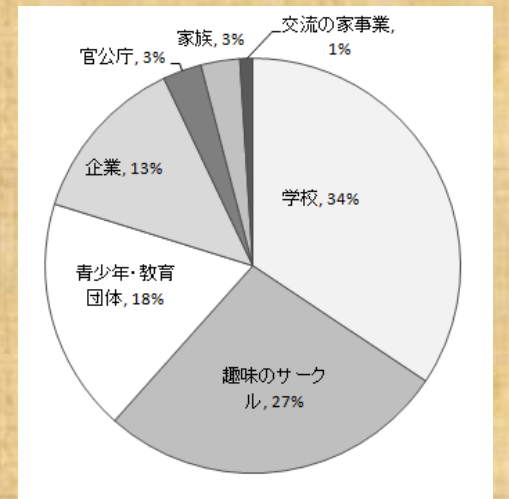
利用のようす(3~4月)



■3月の利用者数
…14,061人 86団体

■4月の利用者数
…16,853人 117団体

★利用団体
種類別の割合⇒



みなさんの声

利用にあたりよくある質問

Q. 備品は借りられますか?

⇒こちらで備えている物は無料で貸し出しをしています。頻繁に出るものとしてはホワイトボードマーカーやワイヤレスマイク&アンプ、プロジェクターなどがあります。ある程度の数量は備えてありますが予約はお受けできませんので、他団体と譲り合いながらご使用ください。また、稀にですが貸し出しが集中して数が足りなくなることもありますので、ご心配な方はご持参ください。

Q. 活動計画書を送って下さいと言われたのですが、昨年まで提出していた利用申込書のことでしょか?

⇒はい、そうです。利用申込書は活動計画に関する内容でしたので、分かりやすいように名称を変更しました。その他にも細かいところを改善し、平成24年度版の利用ガイドを作成しましたのでご利用の前には是非ご一読ください。

アンケートより

★「オリエンテーション」が少し長く感じましたが…

⇒はい、こちらは大切な課題です。オリエンテーションでは、①一人ひとりの方が主体的に行動できるための、最低限必要なルールを伝えるとともに、単なる説明ではなく、②「いいよはじまるぞ!」という研修活動へのモチベーションを高める場であるように配慮しています。その内容のバランスに、いつも頭を悩ませます。①に偏ってしまつては、つまらないものになってしまうでしょうし、②に偏つては、安全上大切なことが抜けたり、円滑な活動の進行を妨げることもつながります。

できるだけ短く、大切なことを落とさないことをモットーに試行錯誤しております。また、団体の方の年齢、経験によって、必要な情報は異なってくると思いますので、オリエンテーション前に、担当の方と簡単なすり合わせをさせていただきたく思います。

よりよい活動へ向けた導入の部分にしていきたいと思っておりますので、引き続き、この「場」へのご理解とご協力をお願いいたします。

